

研修名 発達支援リーダー研修 第4回 【支援編】

平成27年10月28日(水) 15:00～17:30

講演 「支援スキルの習得」

講師 弓削 マリ子 氏

## 1 講演要旨

- ① 研修参加者がそれぞれ記入したワークシートを基に、同じような特性を持った子の事例で、A～Fグループに分類し、各グループでグループワークを行う。  
Aグループ・・・行動の切り替えが難しい子  
B. Cグループ・・・友達関係が難しい子  
Dグループ・・・不安が強い子、理解が難しい子  
Eグループ・・・グループ活動の参加が難しい子  
Fグループ・・・身辺自立に課題のある子
- ② グループワークの中身について
  - ・子どもが困っている要因・状況
  - ・支援の手がかり(うまくいっている様子から)
  - ・支援方法・環境設定上記の3点を中心に各グループで意見を出し合う。
- ③ 各グループ1つの事例を発表し、講師より助言をして頂く。

## 2 感想

私はEグループでのグループワークに参加しました。同じような特性を持った子どもということでしたが、実際に見たことがなく、ワークシートを読むだけや、話を聞いただけでは理解しきれない部分も多くありましたが、「友だちの役に立って嬉しかったという経験を重ねること」「遊びのルールがわかるまでは保育者が側についてあげること」「本児にとって安心できる場所を作ってあげること」など、参考となる話がきけました。

各グループの発表では、それぞれの特性を持った子どもの話を聞き、その特性の中にもいろいろな課題を持った子どもがいて支援の方法も難しいと感じたことと、講師の助言で、活動の切り替えが難しい子に対して、「あと少し」「あとちょっと」という曖昧な表現ではなく「あと1回」「時計の針が〇〇まできたら」などと明確に伝えること。噛みつきがひどい子には、「本児がどういう気持ちで噛んでいるかを汲み取ってあげること」。保護者へは、「マイナスなことはあまり伝えず、少しでも成長したと思えることを伝えることで保護者の支援につながる」ということなど、支援する側としての方法や、心構えを知ることができました。

まとめとして講師が話された、「半年前、1か月前、昨日と比べて、振り返って子どもの様子を見て工夫していくこと」「試行錯誤をしていくことが子どもの栄養になっていくので、日々努力を惜しまず頑張してほしい」という言葉を聞き、改めて日々の保育の中で子どもたちに何ができるか？どうしてあげれば良いか？ということを考える機会となりました。今回の研修をしっかりと日々の保育の中で活かしていきたいと思います。

( 記録 伊勢田保育園 岡本 善幸 )